

## 科目ナンバリング

本学で開講する授業科目に適切な番号やアルファベットを付して分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示しています。

本学のナンバリングは、次の7桁の数字とアルファベットで構成しています。

①	②	③	④	⑤	
N	2	A	B	19	(例) 情報処理演習 II

①開講コース
N：全コース対象・教養科目
H：グローバル留学
G：観光コミュニケーション
A：ビジネス・教養
K：ライフデザイン
L：インテリアデザイン
P：ブライダル
J：テーマパークダンス・バレエ
F：ファッションビジネス
Z：メイクアップ・コスメティック
B：美容文化
C：フードビジネス
U：グレイセス
W：マスター
S：日本文化

②授業形態
1：講義
2：演習
3：実習

③学問領域・分野
(分科)
A：情報学
B：健康・スポーツ科学
C：生活科学
D：環境学
E：哲学
F：芸術学
G：文学
H：言語学
J：史学
K：文化人類学
L：法学
M：政治学
N：経済学
P：経営学
Q：社会学
R：心理学
S：教育学
T：土木工学
U：建築学
(分野)
V：数物系科学
W：化学

※文科省「系・分野・分科・細目表」

④レベル	
B：BASIC	(初級)
M：MIDDLE	(中級)
INTERMEDIATE	
A：ADVANCED	(上級)

⑤科目ナンバー
コース内の連番

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

本学では、現代の生活文化を確立するために必要とされる高度な教養と豊かな情操、優れた感性と人間性、国際社会で活躍できる広い視野と資質を身につけた学生に短期大学士(生活文化学)を授与します。具体的には、所定の単位を修得し、次のような資質や能力を持つことが求められます。

- 1) 現代社会を生きるにふさわしい人間性、創造性、文化的感性、倫理性、コミュニケーション能力。
- 2) 生活文化の各分野で必要とされる実践的な専門技術、即戦力、社会的能力。
- 3) 国際社会に対応できる柔軟な理解力、基礎的な知識や語学力。

ビジネス専攻 ディプロマ・ポリシー

従来の衣・食・住生活に関する領域に加えて、芸術・健康・プライダルなどの専門的領域の知識・技能を修得し、現代生活の多様化に即した質の高い生活文化を実現する。

グローバル留学コース到達目標

名古屋文化短期大学の定めるディプロマ・ポリシーへ向けた目的達成のために、本コースでは教育課程を通じて、次の能力を学修することを目標とする。

1. 台湾とイギリスの大学学士号を取得することによって、日本国内外で通用するビジネス又はホスピタリティの高い専門スキルを身につけている。
2. 3年間に渡って海外生活を積むことで、世界中の人と、語学力を含む、高いレベルのコミュニケーションを図ることができる。
3. 日本を離れることにより、客観的に日本人、日本文化を理解し、伝えることができる。

到達指標

1【知識・理解】

生活文化における、知識と教養を正しく理解する。

- ① 各専門分野の基礎となる知識を得ることができる。
- ② 各専門分野の基となる知識の理解深めることができる。
- ③ 取得した知識を応用することができる。

2【思考・判断・表現】

自ら考察し、適切に判断する力を養い、自己表現できる。

- ① 物事を総合的に考察することができる。
- ② 自ら選択し、判断し、技能を發揮または芸術的表現が出来る。

3【技能】

幅広い専門的な技能を修得し、優れた技能・創造力・企画力・コミュニケーション力を取得することができる。

- ① 専門分野に必要な知識と技能を身につけることができる。
- ② 専門技術及び知識を用いて、他者と質の高いコミュニケーション力を身につけることができる。
- ③ 各専門分野で必要に応じた技能を選択使用し、プレゼンテーションする能力を身につけることができる。

4【関心・意欲・態度】

意欲的に物事に取り組み、積極的な態度で真摯に物事に向き合うことができる。また地域社会と連携し貢献することができる。

- ① 各専門分野に興味を持ち探求することができる。
- ② 各専門分野の物事に主体的、意欲的に取り組むことができる。
- ③ 地域や社会との関わりを意識し、積極的に行動することができる。

1年次

種別	授業科目	1	2	3	4	ナンバリング	
教養科目	生活と倫理 I	○	◎	○	○	N2QB80	
	心理学	◎	△	○	○	N1RB82	
	生活と倫理 II	○	◎	○	○	N2QB81	
	TOEIC I A	○	△	○	○	N2HB83	
	TOEIC I B	○	△	○	○	N2HM84	
	異文化の理解	◎	○	△	○	N1QB85	
	英会話 I	○	△	○	○	N2HB86	
	日本語コミュニケーション I	○	△	◎	○	N1HB87	
	中国語	○	△	○	○	N2HB93	
	TOEIC II A	○	△	○	○	N2HM88	
	TOEIC II B	○	△	○	○	N2HA89	
	英会話 II	○	△	○	○	N2HM90	
	海外研究	◎	○	△	○	N1QM91	
	日本語コミュニケーション II	○	△	◎	○	N1HM92	
	フランス語	○	△	△	○	N2HB94	
専攻科目	キャリアデザイン I	◎	○	△	○	N1QB95	
	情報リテラシー I	◎	△	○	○	N2AB96	
	キャリアデザイン II	◎	○	△	○	N1QM97	
	情報リテラシー II	◎	△	○	○	N2AB98	
	文章表現法	◎	○	○	○	N2HB99	
	専攻科目	生活文化論	◎	○	△	○	N1CB01
		衣食住ビジネス概論	◎	◎	◎	◎	H1CB09
		エアライン業界論	◎	◎	◎	◎	H1QB10
		英語資格IELTS I	◎	○	◎	○	H1HM11
		観光英語 I	◎	◎	◎	◎	H2HB12
		公務員養成講座 I	○	○	○	○	H1QB13
		国際関係論 I	◎	◎	○	◎	H1QB14
		時事英語	◎	○	◎	○	H2HB15
		実用英会話 I	◎	○	◎	○	H2HB16
		実用中国語 I	◎	○	◎	○	H1HM17
ビジネス情報処理 I		◎	△	○	○	H2AB18	
ビジネス法規 I		◎	○	◎	◎	H1LB19	
ファイナンス論 I		◎	○	◎	○	H1NB20	
プロトコルマナー		○	○	○	○	H1QB21	
簿記 I		◎	△	○	○	H1AB22	
専攻科目	ホスピタリティ演習	○	○	○	○	H2CB23	
	ホテルビジネス論	◎	◎	◎	◎	H1QB24	
	旅行業務総論	◎	◎	◎	◎	H1QB25	
	アメリカ文化研究 I	◎	◎	◎	◎	H2QB26	
	アメリカ文化研究 II	◎	◎	◎	◎	H2QB27	
	英語資格IELTS	◎	○	◎	○	H1HM28	
	現代社会研究	◎	◎	◎	◎	H2QB29	
	行動心理学	○	○	○	○	H1RB30	
	公務員養成講座 II	○	○	○	○	H1QB31	
	コミュニケーション演習	○	○	○	○	H2QB32	
	実用中国語 II	◎	○	◎	○	H1HM33	
	ビジネス情報処理 II	◎	△	○	○	H2AB34	
	ビジネス論	◎	○	◎	◎	H1QB35	
	ファイナンス論 II	◎	○	◎	○	H1NM36	
	簿記 II	◎	△	○	○	H1AB37	

2年次

種別	授業科目	1	2	3	4	ナンバリング
教養科目	文章表現法	◎	○	○	○	N2HB99
専攻科目	演習 I	○	◎	△	◎	N2QB02
	演習 II	○	◎	△	◎	N2QM03
	インターンシップ I	◎	◎	○	◎	N3QM04
	インターンシップ II	◎	◎	○	◎	N3QM05
	生活文化海外セミナー I	○	○	○	◎	N2QM06
	生活文化海外セミナー II	○	○	○	◎	N2QM07
	特殊研究	○	○	○	◎	N2CA08
	英作文	◎	○	◎	○	H1HM38
	会計学	◎	○	◎	○	H1PM39
	金融マネジメント	◎	○	◎	○	H1NM40
	経営学	◎	○	◎	○	H1PM41
	経済学 I	◎	○	◎	○	H1NM42
	経済学 II	◎	○	◎	○	H1NM43
	国際経済経営	◎	○	◎	○	H1NM44
	上級英語 I	◎	○	◎	○	H2HA45
	上級英語 II	◎	○	◎	○	H2HA46
	情報処理MS Office Excel	◎	○	◎	○	H1AM47
	人事マネジメント	◎	○	◎	○	H1PM48
	組織行動学	◎	○	◎	○	H1QM49
	統計学	◎	○	◎	○	H1NM50
ビジネス英語	◎	○	◎	○	H2HM51	
プログラミング	◎	○	◎	○	H2AM52	
マーケティング	◎	○	◎	○	H1NM53	
IELTSリスニングと読解	◎	○	◎	○	H1HM54	
英語リスニング・スピーキング	◎	○	◎	○	H1HM55	
革新的経営ケーススタディ	◎	○	◎	○	H2PM56	
観光法規	◎	○	◎	○	H1LM57	
ケータリングサービス	◎	○	◎	○	H2CM58	
国際観光学	◎	○	◎	○	H1NM59	
上級英作文	◎	○	◎	○	H2HA60	
乗務員・添乗員英語	◎	○	◎	○	H2HA61	
ホスピタリティ経営	◎	○	◎	○	H1QM62	
マルチライアル	グローバルマネジメント演習	◎	○	◎	◎	N2PB50
	プロトコルマナー演習	◎	○	◎	◎	N2QB51
	アピランス	◎	○	◎	○	N2QB52
	美容と健康	◎	○	△	○	N2BB53
	住まいとデザイン	◎	○	○	○	N1UB54
	プライダル基礎講座	◎	△	○	○	N2CB55
	ヒップホップダンス	◎	○	◎	○	N2BB56
	ファッション流行	◎	○	◎	○	N2CB57
	ベーシックヘアー&メイクアップ	◎	○	◎	○	N2CB58
食生活演習	◎	△	○	○	N2BB59	





卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

本学では、現代の生活文化を確立するために必要とされる高度な教養と豊かな情操、優れた感性と人間性、国際社会で活躍できる広い視野と資質を身につけた学生に短期大学士(生活文化学)を授与します。具体的には、所定の単位を修得し、次のような資質や能力を持つことが求められます。

- 1) 現代社会を生きるにふさわしい人間性、創造性、文化的感性、倫理性、コミュニケーション能力。
- 2) 生活文化の各分野で必要とされる実践的な専門技術、即戦力、社会的能力。
- 3) 国際社会に対応できる柔軟な理解力、基礎的な知識や語学力。

ビジネス専攻 ディプロマ・ポリシー

従来の衣・食・住生活に関する領域に加えて、芸術・健康・ブライダルなどの専門的領域の知識・技能を修得し、現代生活の多様化に即した質の高い生活文化を実現する。

ライフデザインコース到達目標

名古屋文化短期大学の定めるディプロマ・ポリシーへ向けた目的達成のために、本コースでは教育課程を通じて、次の能力を学修することを目標とする。

- 1、社会人基礎力を習得し、社会とのつながりや貢献の仕方などを自由に選択できる。
- 2、多岐にわたる本学開講科目から自由に選択し履修することにより、社会学の基礎知識を習得している。
- 3、グローバル社会に対応したホスピタリティスキル、語学力、コミュニケーション力等を習得している。

到達指標

1【知識・理解】

生活文化における、知識と教養を正しく理解する。

- ① 各専門分野の基礎となる知識を得ることができる。
- ② 各専門分野の基となる知識の理解深めることができる。
- ③ 取得した知識を応用することができる。

2【思考・判断・表現】

自ら考察し、適切に判断する力を養い、自己表現できる。

- ① 物事を総合的に考察することができる。
- ② 自ら選択し、判断し、技能を発揮または芸術的表現が出来る。

3【技能】

幅広い専門的な技能を修得し、優れた技能・創造力・企画力・コミュニケーション力を取得することができる。

- ① 専門分野に必要な知識と技能を身につけることができる。
- ② 専門技術及び知識を用いて、他者と質の高いコミュニケーション力を身につけることができる。
- ③ 各専門分野で必要に応じた技能を選択使用し、プレゼンテーションする能力を身につけることができる。

4【関心・意欲・態度】

意欲的に物事に取り組み、積極的な態度で真摯に物事に向き合うことができる。また地域社会と連携し貢献することができる。

- ① 各専門分野に興味を持ち探求することができる。
- ② 各専門分野の物事に主体的、意欲的に取り組むことができる。
- ③ 地域や社会との関わりを意識し、積極的に行動することができる。

1年次

種別	授業科目	1	2	3	4	ナンバリング
教養科目	生活と倫理 I	○	◎	○	○	N2QB80
	生活と倫理 II	○	◎	○	○	N2QB81
	TOEIC I A	○	△	○	○	N2HB83
	TOEIC I B	○	△	○	○	N2HM84
	異文化の理解	◎	○	△	○	N1QB85
	英会話 I	○	△	○	○	N2HB86
	日本語コミュニケーション I	○	△	◎	○	N1HB87
	TOEIC II A	○	△	○	○	N2HM88
	TOEIC II B	○	△	○	○	N2HA89
	英会話 II	○	△	○	○	N2HM90
	海外研究	◎	○	△	○	N1QM91
	日本語コミュニケーション II	○	△	◎	○	N1HM92
	キャリアデザイン I	◎	○	△	○	N1QB95
	情報リテラシー I	◎	△	○	○	N2AB96
キャリアデザイン II	◎	○	△	○	N1QM97	
情報リテラシー II	◎	△	○	○	N2AB98	
専攻科目	インターンシップ I	◎	◎	○	◎	N3QM04
	生活文化海外セミナー I	○	○	○	◎	N2QM06
	生活文化海外セミナー II	○	○	○	◎	N2QM07
	特殊研究	○	○	○	◎	N2CA08
	家庭料理	○	○	○	◎	K3CB09
	韓国語 I	○	△	○	○	K1HB10
	近代芸術論	◎	○	△	○	K1FB11
	茶道実習 I	○	◎	○	◎	K3FB12
	茶道概論	◎	○	△	◎	K1FB13
	ビジネス情報処理 I	◎	△	○	○	K2AM14
	プロトコルマナー	○	○	○	△	K2QB15
	印象管理	○	○	○	△	K2RB16
	Webマーケティング論	◎	△	○	◎	K1NB17
	韓国語 II	○	△	○	○	K1HM18
コミュニケーション演習	○	◎	○	○	K2QB19	
茶道実習 II	○	◎	○	◎	K3FM20	
セルフスタイリング	○	○	○	△	K2CB21	
ビジネス情報処理 II	◎	△	○	○	K2AM22	
美と食	◎	○	△	○	K1CB23	

2年次

種別	授業科目	1	2	3	4	ナンバリング
教養科目	心理学	◎	△	○	○	N1RB82
	中国語	○	△	○	○	N2HB93
	フランス語	○	△	△	○	N2HB94
	文章表現法	◎	○	○	○	N2HB99
専攻科目	生活文化論	◎	○	△	○	N1CB01
	演習 I	○	◎	△	◎	N2QB02
	演習 II	○	◎	△	◎	N2QM03
	インターンシップ II	◎	◎	○	◎	N3QM05
	Webデザイン I	◎	△	○	◎	K2AB24
	英語資格講座 I	○	△	○	○	K1HM25
	茶道実習 III	○	◎	○	◎	K3FM26
	セルフメイクアップ	○	◎	○	◎	K3CB27
	茶文化研究	○	◎	○	◎	K3FM28
	日本文化演習 I	○	◎	○	◎	K2FB29
	日本料理・和菓子実習	○	◎	○	◎	K3CB30
	フラワーデザイン	◎	△	○	◎	K3FB31
	和装美学	○	◎	○	◎	K3FB32
	Webデザイン II	◎	△	○	◎	K3FM33
アロマセラピー	◎	△	○	◎	KC2B34	
英語資格講座 II	○	△	○	○	K1HA35	
茶道実習 IV	○	◎	○	◎	K3FA36	
日本文化演習 II	○	◎	○	◎	K2FB37	
日本文化論	◎	○	△	◎	K1FB38	
ライフスタイルコーディネーター	○	◎	○	◎	K2QB39	
芸術文化演習	◎	○	△	○	K2FM40	
マルチメディア	グローバルマネジメント演習	◎	○	◎	◎	N2PB50
	プロトコルマナー演習	◎	○	◎	◎	N2QB51
	アピアランス	◎	○	◎	○	N2QB52
	美容と健康	◎	○	△	○	N2BB53
	住まいとデザイン	◎	○	○	○	N1UB54
	ブライダル基礎講座	◎	△	○	○	N2CB55
	ヒップホップダンス	◎	○	◎	○	N2BB56
	ファッション流行	◎	○	○	○	N2CB57
	ベーシックヘアー&メイクアップ	◎	○	◎	○	N2CB58
	食生活演習	◎	△	○	○	N2BB59

## 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

本学では、現代の生活文化を確立するために必要とされる高度な教養と豊かな情操、優れた感性と人間性、国際社会で活躍できる広い視野と資質を身につけた学生に短期大学士(生活文化学)を授与します。具体的には、所定の単位を修得し、次のような資質や能力を持つことが求められます。

- 1) 現代社会を生きるにふさわしい人間性、創造性、文化的感性、倫理性、コミュニケーション能力。
- 2) 生活文化の各分野で必要とされる実践的な専門技術、即戦力、社会的能力。
- 3) 国際社会に対応できる柔軟な理解力、基礎的な知識や語学力。

## ビジネス専攻 ディプロマ・ポリシー

従来の衣・食・住生活に関する領域に加えて、芸術・健康・ブライダルなどの専門的領域の知識・技能を修得し、現代生活の多様化に即した質の高い生活文化を実現する。

## インテリアデザインコース到達目標

名古屋文化短期大学の定めるディプロマ・ポリシーへ向けた目標達成のために、本コースでは教育課程を通じて、次の能力を学修することを目標とする。

- 1、インテリアコーディネーターに必要な知識と技術を習得している。
- 2、学んだ知識と技術を用いてインテリアを表現することができる。
- 3、最新情報を取得し、ニーズに応じたインテリアを提案することができる。

## 到達指標

## 1【知識・理解】

生活文化における、知識と教養を正しく理解する。

- ① 各専門分野の基礎となる知識を得ることができる。
- ② 各専門分野の基となる知識の理解深めることができる。
- ③ 取得した知識を応用することができる。

## 2【思考・判断・表現】

自ら考察し、適切に判断する力を養い、自己表現できる。

- ① 物事を総合的に考察することができる。
- ② 自ら選択し、判断し、技能を発揮または芸術的表現が出来る。

## 3【技能】

幅広い専門的な技能を修得し、優れた技能・創造力・企画力・コミュニケーション力を取得することができる。

- ① 専門分野に必要な知識と技能を身につけることができる。
- ② 専門技術及び知識を用いて、他者と質の高いコミュニケーション力を身につけることができる。
- ③ 各専門分野で必要に応じた技能を選択使用し、プレゼンテーションする能力を身につけることができる。

## 4【関心・意欲・態度】

意欲的に物事に取り組み、積極的な態度で真摯に物事に向き合うことができる。また地域社会と連携し貢献することができる。

- ① 各専門分野に興味を持ち探求することができる。
- ② 各専門分野の物事に主体的、意欲的に取り組むことができる。
- ③ 地域や社会との関わりを意識し、積極的に行動することができる。

## 1年次

種別	授業科目	1	2	3	4	ナンバリング
教 養 科 目	生活と倫理 I	○	◎	○	○	N2QB80
	生活と倫理 II	○	◎	○	○	N2QB81
	TOEIC I A	○	△	○	○	N2HB83
	TOEIC I B	○	△	○	○	N2HM84
	異文化の理解	◎	○	△	○	N1QB85
	英会話 I	○	△	○	○	N2HB86
	日本語コミュニケーション I	○	△	◎	○	N1HB87
	TOEIC II A	○	△	○	○	N2HM88
	TOEIC II B	○	△	○	○	N2HA89
	英会話 II	○	△	○	○	N2HM90
	海外研究	◎	○	△	○	N1QM91
	日本語コミュニケーション II	○	△	◎	○	N1HM92
	キャリアデザイン I	◎	○	△	○	N1QB95
	情報リテラシー I	◎	△	○	○	N2AB96
キャリアデザイン II	◎	○	△	○	N1QM97	
情報リテラシー II	◎	△	○	○	N2AB98	
専 攻 科 目	インターンシップ I	◎	◎	○	◎	N3QM04
	生活文化海外セミナー I	○	○	○	◎	N2QM06
	生活文化海外セミナー II	○	○	○	◎	N2QM07
	特殊研究	○	○	○	◎	N2CA08
	インテリアコーディネーター I	◎	○	○	○	L1CB09
	インテリアコーディネーター II	◎	○	○	○	L1CB10
	インテリアデザイン論	○	○	○	◎	L1FM11
	基礎デッサン	○	○	◎	○	L2FB12
	茶道概論	◎	○	○	○	L2CB13
	茶道実習 I	○	○	◎	○	L3CB14
	インテリア色彩学	◎	○	◎	○	L1FB15
	設計製図	○	○	◎	○	L2UB16
	インテリア表現法	○	○	◎	○	L1FB17
	デザイン演習	○	◎	◎	○	L2FB18
スペインデザイン	○	◎	◎	○	L2FM19	
インテリアコーディネーター III	◎	◎	◎	○	L2FA20	
インテリア計画	◎	◎	◎	○	L2UB21	
インテリア材料学	◎	○	○	○	L1UM22	
インテリアスタイリング I	○	◎	◎	◎	L2FM23	
建築CAD演習	○	○	◎	○	L2UM24	
茶道実習 II	◎	○	◎	○	L3CM25	
透視図法	○	○	◎	○	L2FM26	

## 2年次

種別	授業科目	1	2	3	4	ナンバリング
教 養 科 目	心理学	◎	△	○	○	N1RB82
	中国語	○	△	○	○	N2HB93
	フランス語	○	△	△	○	N2HB94
	文章表現法	◎	○	○	○	N2HB99
	生活文化論	◎	○	△	○	N1CB01
専 攻 科 目	演習 I	○	◎	△	◎	N2QB02
	演習 II	○	◎	△	◎	N2QM03
	インターンシップ II	◎	◎	○	◎	N3QM05
	インテリアスタイリング II	○	◎	◎	◎	L2FM27
	インテリアフォトグラフ	◎	○	◎	○	L2FM28
	インテリアグラフィックス	◎	○	○	○	L2FB29
	キッチンデザイン	◎	○	◎	○	L2CM30
	ビジネス接客マナー	○	◎	◎	○	L1CB31
	ランドスケープデザイン概論	○	○	○	○	L1UM32
	ヴィジュアルマーチャンダイジング	◎	○	◎	○	L2CM33
	モデリング	○	○	◎	○	L2UM34
	リノベーション概論	○	○	◎	○	L1FM35
	インテリア演習	○	◎	◎	◎	L2FA36
	インテリア工芸演習	◎	○	◎	○	L2FM37
建築史	◎	○	○	○	L1JM38	
リテイルマーケティング	◎	○	○	○	L1PM39	
国際文化芸術論	◎	○	○	○	L1FA40	
生活環境論	◎	○	○	○	L1CA41	
マ ル チ ト ラ イ ア ル	グローバルマネジメント演習	◎	○	◎	◎	N2PB50
	プロトコルマナー演習	◎	○	◎	◎	N2QB51
	アピランス	◎	○	◎	○	N2QB52
	美容と健康	◎	○	△	○	N2BB53
	住まいとデザイン	◎	○	○	○	N1UB54
	ブライダル基礎講座	◎	△	○	○	N2CB55
	ヒップホップダンス	◎	○	◎	○	N2BB56
	ファッション流行	◎	○	○	○	N2CB57
	ベーシックヘアー&メイクアップ	◎	○	◎	○	N2CB58
	食生活演習	◎	△	○	○	N2BB59

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

本学では、現代の生活文化を確立するために必要とされる高度な教養と豊かな情操、優れた感性と人間性、国際社会で活躍できる広い視野と資質を身につけた学生に短期大学士(生活文化学)を授与します。具体的には、所定の単位を修得し、次のような資質や能力を持つことが求められます。

- 1) 現代社会を生きるにふさわしい人間性、創造性、文化的感性、倫理性、コミュニケーション能力。
- 2) 生活文化の各分野で必要とされる実践的な専門技術、即戦力、社会的能力。
- 3) 国際社会に対応できる柔軟な理解力、基礎的な知識や語学力。

ビジネス専攻 ディプロマ・ポリシー

従来の衣・食・住生活に関する領域に加えて、芸術・健康・ブライダルなどの専門的領域の知識・技能を修得し、現代生活の多様化に即した質の高い生活文化を実現する。

ブライダルコース到達目標

名古屋文化短期大学の定めるディプロマ・ポリシーへ向けた目的達成のために、本コースでは教育課程を通じて、次の能力を学修することを目標とする。

- 1、家族や社会について考察する力を身につけている。
- 2、変動する顧客ニーズに対する提案・対応することができる。
- 3、ブライダルビジネス業界に必要な対話力と即戦力、及び資格を習得している。

到達指標

1【知識・理解】

生活文化における、知識と教養を正しく理解する。

- ① 各専門分野の基礎となる知識を得ることができる。
- ② 各専門分野の基となる知識の理解深めることができる。
- ③ 取得した知識を応用することができる。

2【思考・判断・表現】

自ら考察し、適切に判断する力を養い、自己表現できる。

- ① 物事を総合的に考察することができる。
- ② 自ら選択し、判断し、技能を発揮または芸術的表現が出来る。

3【技能】

幅広い専門的な技能を修得し、優れた技能・創造力・企画力・コミュニケーション力を取得することができる。

- ① 専門分野に必要な知識と技能を身につけることができる。
- ② 専門技術及び知識を用いて、他者と質の高いコミュニケーション力を身につけることができる。
- ③ 各専門分野で必要に応じた技能を選択使用し、プレゼンテーションする能力を身につけることができる。

4【関心・意欲・態度】

意欲的に物事に取り組み、積極的な態度で真摯に物事に向き合うことができる。また地域社会と連携し貢献することができる。

- ① 各専門分野に興味を持ち探求することができる。
- ② 各専門分野の物事に主体的、意欲的に取り組むことができる。
- ③ 地域や社会との関わりを意識し、積極的に行動することができる。

1年次

種別	授業科目	1	2	3	4	ナンバリング
教養科目	生活と倫理 I	○	◎	○	○	N2QB80
	生活と倫理 II	○	◎	○	○	N2QB81
	TOEIC I A	○	△	○	○	N2HB83
	TOEIC I B	○	△	○	○	N2HM84
	異文化の理解	◎	○	△	○	N1QB85
	英会話 I	○	△	○	○	N2HB86
	日本語コミュニケーション I	○	△	◎	○	N1HB87
	TOEIC II A	○	△	○	○	N2HM88
	TOEIC II B	○	△	○	○	N2HA89
	英会話 II	○	△	○	○	N2HM90
	海外研究	◎	○	△	○	N1QM91
	日本語コミュニケーション II	○	△	◎	○	N1HM92
	キャリアデザイン I	◎	○	△	○	N1QB95
	情報リテラシー I	◎	△	○	○	N2AB96
キャリアデザイン II	◎	○	△	○	N1QM97	
情報リテラシー II	◎	△	○	○	N2AB98	
専攻科目	インターンシップ I	◎	◎	○	◎	N3QM04
	生活文化海外セミナー I	○	○	○	◎	N2QM06
	生活文化海外セミナー II	○	○	○	◎	N2QM07
	特殊研究	○	○	○	◎	N2CA08
	海外ウェディング	◎	△	◎	○	P1KB09
	情報処理演習	◎	○	△	○	P2AB10
	ブライダルオペレーション I	◎	○	○	◎	P3CB11
	ブライダルコスチューム	◎	○	○	◎	P2FB12
	ブライダル総論 I	◎	○	◎	○	P1KM13
	ブライダルプランニング I	○	◎	○	◎	P2FB14
	ブライダルヘアメイク	◎	○	◎	○	P3CB15
	プロトコルマナー	◎	○	○	○	P1QB16
	和装美学演習 I	◎	△	○	○	P2FB17
	ウェディングプロデュース	◎	○	○	◎	P2CB18
	ブライダルアイテムデザイン	◎	◎	◎	◎	P3CB19
	ブライダルオペレーション II	◎	○	◎	○	P3CM20
	ブライダル総論 II	◎	○	◎	○	P1KM21
	ブライダルプランニング II	◎	○	◎	○	P2CM22
	フラワーデザイン演習 I	◎	◎	○	○	P2CB23
	プランニング論	◎	○	◎	○	P1QB24
ホテルビジネス論	◎	○	○	◎	P1QB25	
和装美学演習 II	◎	△	○	○	P2FB26	

2年次

種別	授業科目	1	2	3	4	ナンバリング
教養科目	心理学	◎	△	○	○	N1RB82
	中国語	○	△	○	○	N2HB93
	フランス語	○	△	△	○	N2HB94
	文章表現法	◎	○	○	○	N2HB99
	生活文化論	◎	○	△	○	N1CB01
専攻科目	演習 I	○	◎	△	◎	N2QB02
	演習 II	○	◎	△	◎	N2QM03
	インターンシップ II	◎	◎	○	◎	N3QM05
	空間プロデュース	◎	◎	○	◎	P3FB27
	実用韓国語 I	○	△	◎	○	P2HB28
	チームコミュニケーションスキル	○	○	◎	◎	P2QM29
	パーソナルカラー	◎	○	◎	○	P1CB30
	パフォーマンス研究	◎	◎	○	○	P2BB31
	フードプランニング	◎	○	○	◎	P2CB32
	フラワーデザイン演習 II	◎	◎	○	○	P2FB33
	ホスピタリティ・サービス演習 I	◎	○	○	◎	P3CA34
	恋愛と結婚	◎	○	○	◎	P2QB35
	行動心理学	◎	△	○	○	P1RB36
	コスチューム造形演習	◎	○	◎	△	P2FB37
	実用韓国語 II	○	△	◎	○	P2HM38
	ビジュアルアーツ	◎	○	○	○	P2AB39
	美と食	◎	○	○	○	P1CA40
	ホスピタリティ・サービス演習 II	◎	○	○	◎	P3CA41
	メディアプランニング	◎	○	○	○	P2AB42
マルチメディア	グローバルマネジメント演習	◎	○	◎	◎	N2PB50
	プロトコルマナー演習	◎	○	◎	◎	N2QB51
	アピアランス	◎	○	◎	○	N2QB52
	美容と健康	◎	○	△	○	N2BB53
	住まいとデザイン	◎	○	○	○	N1UB54
	ブライダル基礎講座	◎	△	○	○	N2CB55
	ヒップホップダンス	◎	○	◎	○	N2BB56
	ファッション流行	◎	○	○	○	N2CB57
	ベーシックヘアー&メイクアップ	◎	○	◎	○	N2CB58
	食生活演習	◎	△	○	○	N2BB59

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

本学では、現代の生活文化を確立するために必要とされる高度な教養と豊かな情操、優れた感性と人間性、国際社会で活躍できる広い視野と資質を身につけた学生に短期大学士(生活文化学)を授与します。具体的には、所定の単位を修得し、次のような資質や能力を持つことが求められます。

- 1) 現代社会を生きるにふさわしい人間性、創造性、文化的感性、倫理性、コミュニケーション能力。
- 2) 生活文化の各分野で必要とされる実践的な専門技術、即戦力、社会的能力。
- 3) 国際社会に対応できる柔軟な理解力、基礎的な知識や語学力。

ビジネス専攻 ディプロマ・ポリシー

従来の衣・食・住生活に関する領域に加えて、芸術・健康・ブライダルなどの専門的領域の知識・技能を修得し、現代生活の多様化に即した質の高い生活文化を実現する。

テーマパークダンス・バレエコース到達目標

名古屋文化短期大学の定めるディプロマ・ポリシーへ向けた目的達成のために、本コースでは教育課程を通じて、次の能力を学修することを目標とする。

1. 心身の健全な発達、明るく豊かな生活の形成に必要な身体活動を身につけている。
2. ダンスの基本から応用まで様々なダンススキルを高め、めざすダンススタイルの幅を広げることができる。
3. エンターテインメントやフィットネス業界で活躍するために必要な人間力、課題解決力を持ち、様々な場面で臨機応変に対応することができる。

到達指標

1【知識・理解】

生活文化における、知識と教養を正しく理解する。

- ① 各専門分野の基礎となる知識を得ることができる。
- ② 各専門分野の基となる知識の理解深めることができる。
- ③ 取得した知識を応用することができる。

2【思考・判断・表現】

自ら考察し、適切に判断する力を養い、自己表現できる。

- ① 物事を総合的に考察することができる。
- ② 自ら選択し、判断し、技能を發揮または芸術的表現が出来る。

3【技能】

幅広い専門的な技能を修得し、優れた技能・創造力・企画力・コミュニケーション力を取得することができる。

- ① 専門分野に必要な知識と技能を身につけることができる。
- ② 専門技術及び知識を用いて、他者と質の高いコミュニケーション力を身につけることができる。
- ③ 各専門分野で必要に応じた技能を選択使用し、プレゼンテーションする能力を身につけることができる。

4【関心・意欲・態度】

意欲的に物事に取り組み、積極的な態度で真摯に物事に向き合うことができる。また地域社会と連携し貢献することができる。

- ① 各専門分野に興味を持ち探求することができる。
- ② 各専門分野の物事に主体的、意欲的に取り組むことができる。
- ③ 地域や社会との関わりを意識し、積極的に行動することができる。

1年次

種別	授業科目	1	2	3	4	ナンバリング
教養科目	生活と倫理 I	○	◎	○	○	N2QB80
	生活と倫理 II	○	◎	○	○	N2QB81
	TOEIC I A	○	△	○	○	N2HB83
	TOEIC I B	○	△	○	○	N2HM84
	異文化の理解	◎	○	△	○	N1QB85
	英会話 I	○	△	○	○	N2HB86
	日本語コミュニケーション I	○	△	◎	○	N1HB87
	TOEIC II A	○	△	○	○	N2HM88
	TOEIC II B	○	△	○	○	N2HA89
	英会話 II	○	△	○	○	N2HM90
	海外研究	◎	○	△	○	N1QM91
	日本語コミュニケーション II	○	△	◎	○	N1HM92
	キャリアデザイン I	◎	○	△	○	N1QB95
	情報リテラシー I	◎	△	○	○	N2AB96
キャリアデザイン II	◎	○	△	○	N1QM97	
情報リテラシー II	◎	△	○	○	N2AB98	
専攻科目	インターンシップ I	◎	◎	○	◎	N3QM04
	生活文化海外セミナー I	○	○	○	◎	N2QM06
	生活文化海外セミナー II	○	○	○	◎	N2QM07
	特殊研究	○	○	○	◎	N2CA08
	ジャズヒップホップ I	○	○	○	○	J3BB09
	テーマパークダンス I	○	◎	○	◎	J2BM10
	バレエの基礎 I	◎	○	○	○	J2BB11
	バレエの基礎 II	◎	○	○	○	J2BM12
	ヒップホップダンス研究 I	○	○	◎	◎	J3BM13
	レクリエーション実技	○	△	○	◎	J3BB14
	アクティング	○	○	○	◎	J2BB15
	シアタージャズ I	○	◎	○	△	J2BB16
	ジャズダンス I	○	○	◎	○	J2BB17
	タップダンス I	○	○	◎	○	J2BB18
	トレーニングの基礎 I	○	△	◎	○	J2BB19
	ミュージカル演習	○	○	○	○	J2BB20
	Kポップダンス	○	○	○	○	J2BB21
ヴォーカル基礎	○	○	○	○	J2BB22	
シアタージャズ II	○	◎	○	△	J2BB23	
生涯スポーツ論	◎	○	○	○	J1BB24	
タップダンス II	○	◎	○	○	J2BB25	
トレーニングの基礎 II	○	△	◎	○	J2BB26	
ミュージカルダンス	○	○	○	○	J3BB27	

2年次

種別	授業科目	1	2	3	4	ナンバリング
教養科目	心理学	◎	△	○	○	N1RB82
	中国語	○	△	○	○	N2HB93
	フランス語	○	△	△	○	N2HB94
	文章表現法	◎	○	○	○	N2HB99
	生活文化論	◎	○	△	○	N1CB01
専攻科目	演習 I	○	◎	△	◎	N2QB02
	演習 II	○	◎	△	◎	N2QM03
	インターンシップ II	◎	◎	○	◎	N3QM05
	オーディション対策	○	○	◎	○	J2BA28
	ジャズダンス II	○	◎	◎	○	J2BM29
	ジャズダンス研究	○	◎	◎	◎	J2BA30
	ジャズヒップホップ II	○	○	◎	○	J3BM31
	ダンスとバレエ	○	◎	◎	○	J2BB30
	テーマパークダンス II	○	◎	○	◎	J2BA33
	バレエ研究	◎	○	○	○	J2BM34
	ヒップホップダンス研究 II	○	◎	◎	○	J3BA35
	コンテンポラリーダンス I	○	○	○	○	J3BB36
	実用韓国語 I	○	△	○	○	J2HB37
	スタイルジャズ I	○	○	◎	○	J3BB38
	トレーニング研究 I	◎	△	○	○	J2BB39
	レクリエーション概論	◎	○	△	○	J1BB40
	コンテンポラリーダンス II	○	○	○	○	J3BB41
	実用韓国語 II	○	△	○	○	J2HB42
	スタイルジャズ II	○	○	◎	○	J3BB43
	トレーニング研究 II	◎	△	○	○	J2BB44
レクリエーション校外実習	△	○	○	◎	J3BB45	
リゾートアクティビティ	○	○	◎	○	J3BB46	
エンターテインメント研究	△	○	○	◎	J2BB47	
マルチメディア	グローバルマネジメント演習	◎	○	◎	◎	N2PB50
	プロトコルマナー演習	◎	○	◎	◎	N2QB51
	アピアランス	◎	○	◎	○	N2QB52
	美容と健康	◎	○	△	○	N2BB53
	住まいとデザイン	◎	○	○	○	N1UB54
	ブライダル基礎講座	◎	△	○	○	N2CB55
	ヒップホップダンス	◎	○	◎	○	N2BB56
	ファッション流行	◎	○	○	○	N2CB57
	ベーシックヘアー&メイクアップ	◎	○	◎	○	N2CB58
食生活演習	◎	△	○	○	N2BB59	

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

本学では、現代の生活文化を確立するために必要とされる高度な教養と豊かな情操、優れた感性と人間性、国際社会で活躍できる広い視野と資質を身につけた学生に短期大学士(生活文化学)を授与します。具体的には、所定の単位を修得し、次のような資質や能力を持つことが求められます。

- 1) 現代社会を生きるにふさわしい人間性、創造性、文化的感性、倫理性、コミュニケーション能力。
- 2) 生活文化の各分野で必要とされる実践的な専門技術、即戦力、社会的能力。
- 3) 国際社会に対応できる柔軟な理解力、基礎的な知識や語学力。

服飾美容専攻 ディプロマ・ポリシー

ファッション及びビューティー業界の要請に応える人材の育成を目標とする。幅広い教養と専門的な技能及び実務能力を修得し、優れた創造力、企画力、技術力を身に付ける。

ファッションビジネスコース到達目標

名古屋文化短期大学の定めるディプロマ・ポリシーへ向けた目的達成のために、本コースでは教育課程を通じて、次の能力を学修することを目標とする。

- 1、美意識の芽を育て、ファッション業界で必要とされる専門知識を身につけている。
- 2、感性を磨き、「人・もの・市場」を“観る力”“聴く力”“調べる力”を身につけている。
- 3、ファッション業界の多様な職種に応える力を身につけている。

到達指標

1【知識・理解】

生活文化における、知識と教養を正しく理解する。

- ① 各専門分野の基礎となる知識を得ることができる。
- ② 各専門分野の基となる知識の理解深めることができる。
- ③ 取得した知識を応用することができる。

2【思考・判断・表現】

自ら考察し、適切に判断する力を養い、自己表現できる。

- ① 物事を総合的に考察することができる。
- ② 自ら選択し、判断し、技能を発揮または芸術的表現が出来る。

3【技能】

幅広い専門的な技能を修得し、優れた技能・創造力・企画力・コミュニケーション力を取得することができる。

- ① 専門分野に必要な知識と技能を身につけることができる。
- ② 専門技術及び知識を用いて、他者と質の高いコミュニケーション力を身につけることができる。
- ③ 各専門分野で必要に応じた技能を選択使用し、プレゼンテーションする能力を身につけることができる。

4【関心・意欲・態度】

意欲的に物事に取り組み、積極的な態度で真摯に物事に向き合うことができる。また地域社会と連携し貢献することができる。

- ① 各専門分野に興味を持ち探求することができる。
- ② 各専門分野の物事に主体的、意欲的に取り組むことができる。
- ③ 地域や社会との関わりを意識し、積極的に行動することができる。

1年次

種別	授業科目	1	2	3	4	ナンバリング
教養科目	生活と倫理 I	○	◎	○	○	N2QB80
	生活と倫理 II	○	◎	○	○	N2QB81
	TOEIC I A	○	△	○	○	N2HB83
	TOEIC I B	○	△	○	○	N2HM84
	異文化の理解	◎	○	△	○	N1QB85
	英会話 I	○	△	○	○	N2HB86
	日本語コミュニケーション I	○	△	◎	○	N1HB87
	TOEIC II A	○	△	○	○	N2HM88
	TOEIC II B	○	△	○	○	N2HA89
	英会話 II	○	△	○	○	N2HM90
	海外研究	◎	○	△	○	N1QM91
	日本語コミュニケーション II	○	△	◎	○	N1HM92
	キャリアデザイン I	◎	○	△	○	N1QB95
	情報リテラシー I	◎	△	○	○	N2AB96
専攻科目	キャリアデザイン II	◎	○	△	○	N1QM97
	情報リテラシー II	◎	△	○	○	N2AB98
	インターンシップ I	◎	◎	○	◎	N3QM04
	生活文化海外セミナー I	○	○	○	◎	N2QM06
	生活文化海外セミナー II	○	○	○	◎	N2QM07
	特殊研究	○	○	○	◎	N2CA08
	色彩学	◎	◎	△	△	F1CB09
	接客マナー	◎	○	◎	○	F2QB10
	創造性の開発	○	◎	○	○	F2FM11
	トレンドディレクション	○	○	◎	◎	F1FM12
	被服材料学	◎	○	△	○	F1CM13
	ファッションビジネス概論	○	○	○	○	F1CM14
	ファッション文化史	◎	○	◎	◎	F1JB15
	メイクの基礎	◎	○	△	○	F2FB16
行動心理学	○	○	○	◎	F1RB17	
ショッププランニング	◎	○	◎	○	F1CB18	
パーソナル色彩学	◎	○	◎	○	F1CM19	
ファッションスタイリング概論	○	△	○	◎	F2CM20	
ファッション造形A	◎	△	△	○	F1FB21	
ファッション販売英語	○	△	○	○	F1CB22	
ファッション販売演習	◎	◎	◎	◎	F2CB23	
ファッションヘアメイクアップ	◎	◎	○	○	F3FB24	
リテイルマーケティング	◎	○	○	◎	F1PM25	

2年次

種別	授業科目	1	2	3	4	ナンバリング
教養科目	心理学	◎	△	○	○	N1RB82
	中国語	○	△	○	○	N2HB93
	フランス語	○	△	△	○	N2HB94
	文章表現法	◎	○	○	○	N2HB99
	生活文化論	◎	○	△	○	N1CB01
専攻科目	演習 I	○	◎	△	◎	N2QB02
	演習 II	○	◎	△	◎	N2QM03
	インターンシップ II	◎	◎	○	◎	N3QM05
	アパレル情報演習	○	○	◎	○	F2AB26
	ヴィジュアルマーチャンダイジング	◎	○	◎	○	F2FM27
	映画とファッション	○	○	○	◎	F1FB28
	茶文化研究	○	◎	○	○	F2CB29
	パーソナルスタイリング	◎	○	◎	◎	F2CM30
	プロトコルマナー	○	◎	◎	○	F1QB31
	マーケティング概論	◎	○	△	△	F1PM32
	マーケティングリサーチ	◎	○	◎	◎	F2QM33
	ヴィジュアルマーチャンダイジング	◎	◎	◎	◎	F2FM34
	Webマーケティング	◎	△	◎	◎	F2QM35
	広告デザイン	◎	○	◎	◎	F2FM36
社会心理学	○	○	○	◎	F1RB37	
セルフエンパワーメント	○	○	◎	◎	F1QM38	
ファッション造形B	◎	○	◎	○	F3FM39	
リテイルマーチャンダイジング論	○	◎	◎	○	F2PM40	
マルチメディア	グローバルマネジメント演習	◎	○	◎	◎	N2PB50
	プロトコルマナー演習	◎	○	◎	◎	N2QB51
	アピランス	◎	○	◎	○	N2QB52
	美容と健康	◎	○	△	○	N2BB53
	住まいとデザイン	◎	○	○	○	N1UB54
	プライダル基礎講座	◎	△	○	○	N2CB55
	ヒップホップダンス	◎	○	◎	○	N2BB56
	ファッション流行	◎	○	○	○	N2CB57
	ベーシックヘアー&メイクアップ	◎	○	◎	○	N2CB58
	食生活演習	◎	△	○	○	N2BB59



卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

本学では、現代の生活文化を確立するために必要とされる高度な教養と豊かな情操、優れた感性と人間性、国際社会で活躍できる広い視野と資質を身につけた学生に短期大学士(生活文化学)を授与します。具体的には、所定の単位を修得し、次のような資質や能力を持つことが求められます。

- 1) 現代社会を生きるにふさわしい人間性、創造性、文化的感性、倫理性、コミュニケーション能力。
- 2) 生活文化の各分野で必要とされる実践的な専門技術、即戦力、社会的能力。
- 3) 国際社会に対応できる柔軟な理解力、基礎的な知識や語学力。

服飾美容専攻 ディプロマ・ポリシー

ファッション及びビューティー業界の要請に応える人材の育成を目標とする。幅広い教養と専門的な技能及び実務能力を修得し、優れた創造力、企画力、技術力を身に付ける。

美容文化コース到達目標

名古屋文化短期大学の定めるディプロマ・ポリシーへ向けた目標達成のために、本コースでは教育課程を通じて、次の能力を学修したものに短期大学士の学位を授与する。

- 1、短期大学に在籍しながら併設校の名古屋ビューティー専門学校に籍をおく併修制度を取り入れ、幅広い教養を身に付けた美容業界の人材となっている。
- 2、美容師・理容師国家資格取得レベルに達し、職業に直結した実践的・実務的な専門スキルを身に付け、即戦力として活躍することができる。

到達指標

1【知識・理解】

生活文化における、知識と教養を正しく理解する。

- ① 各専門分野の基礎となる知識を得ることができる。
- ② 各専門分野の基となる知識の理解を深めることができる。
- ③ 取得した知識を応用することができる。

2【思考・判断・表現】

自ら考察し、適切に判断する力を養い、自己表現できる。

- ① 物事を総合的に考察することができる。
- ② 自ら選択し、判断し、技能を発揮または芸術的表現が出来る。

3【技能】

幅広い専門的な技能を修得し、優れた技能・創造力・企画力・コミュニケーション力を取得することができる。

- ① 専門分野に必要な知識と技能を身につけることができる。
- ② 専門技術及び知識を用いて、他者と質の高いコミュニケーション力を身につけることができる。
- ③ 各専門分野で必要に応じた技能を選択使用し、プレゼンテーションする能力を身につけることができる。

4【関心・意欲・態度】

意欲的に物事に取り組み、積極的な態度で真摯に物事に向き合うことができる。また地域社会と連携し貢献することができる。

- ① 各専門分野に興味を持ち探求することができる。
- ② 各専門分野の物事に主体的、意欲的に取り組むことができる。
- ③ 地域や社会との関わりを意識し、積極的に行動することができる。

1年次

種別	授業科目	1	2	3	4	ナンバリング
教養科目	生活と倫理 I	○	◎	○	○	N2QB80
	生活と倫理 II	○	◎	○	○	N2QB81
	TOEIC I A	○	△	○	○	N2HB83
	TOEIC I B	○	△	○	○	N2HM84
	異文化の理解	◎	○	△	○	N1QB85
	英会話 I	○	△	○	○	N2HB86
	日本語コミュニケーション I	○	△	◎	○	N1HB87
	TOEIC II A	○	△	○	○	N2HM88
	TOEIC II B	○	△	○	○	N2HA89
	英会話 II	○	△	○	○	N2HM90
	海外研究	◎	○	△	○	N1QM91
	日本語コミュニケーション II	○	△	◎	○	N1HM92
	キャリアデザイン I	◎	○	△	○	N1QB95
	情報リテラシー I	◎	△	○	○	N2AB96
キャリアデザイン II	◎	○	△	○	N1QM97	
情報リテラシー II	◎	△	○	○	N2AB98	
専攻科目	インターンシップ I	◎	◎	○	◎	N3QM04
	生活文化海外セミナー I	○	○	○	◎	N2QM06
	生活文化海外セミナー II	○	○	○	◎	N2QM07
	特殊研究	○	○	○	◎	N2CA08
	ビューティーライセンス I	○	○	△	○	B3FB01
	美容技術理論 I	○	△	○	○	B1FB02
	カラーコーディネート	○	○	○	○	B1FB03
	関係法規・制度	○	△	○	○	B1LB04
	クリエイティブカット	◎	◎	◎	○	B3FM05
	デザインメイクアップ I	○	○	○	○	B3FM06
	ヘアセッティング	○	○	△	○	B3FB07
	ベーシックカット	○	○	△	○	B3FB08
	ベーシックネイル	○	○	△	○	B2FB09
	ベーシックメイクアップ	○	○	△	○	B2FB10
	アイデザイン	○	○	△	○	B2FB11
	アドバンスネイル	◎	○	○	○	B2FM12
	クリエイティブヘアカラー	◎	◎	◎	○	B3FM13
	国際ライセンス	◎	◎	◎	○	B3FA14
	デザインメイクアップ II	◎	◎	◎	○	B3FA15
	ドライヘッドスパ	○	○	△	○	B3FB16
ビューティーライセンス II	○	○	○	○	B3FB15	
フェイシャルケア	○	○	△	○	B3FB16	
ブライダルヘアメイク	◎	◎	◎	◎	B3FM17	
ボディジュエリー	◎	◎	○	○	B3FB18	
メンズカット	◎	◎	◎	○	B3FM19	
和装実習	◎	◎	◎	○	B3FM20	

2年次

種別	授業科目	1	2	3	4	ナンバリング
教養科目	心理学	◎	△	○	○	N1RB82
	中国語	○	△	○	○	N2HB93
	フランス語	○	△	△	○	N2HB94
	文章表現法	◎	○	○	○	N2HB99
	生活文化論	◎	○	△	○	N1CB01
専攻科目	演習 I	○	◎	△	◎	N2QB02
	演習 II	○	◎	△	◎	N2QM03
	インターンシップ II	◎	◎	○	◎	N3QM05
	化粧品化学	◎	△	○	○	B1WB21
	美容技術理論 II	◎	△	○	○	B1CM22
	美容文化論	○	○	○	○	B1CM23
	ケアビューティー	○	○	○	◎	B2QB24
	公衆衛生学	○	△	○	○	B1DB25
	自己プロデュース	○	◎	◎	○	B1PM26
	人体の構造	○	△	○	○	B1CB27
	ビューティーマーケティング論	○	◎	◎	○	B1PB28
	ビューティーライセンス III	◎	◎	○	○	B3FM29
	ビューティーライセンス IV	◎	◎	○	○	B3FM30
	プロフェッショナルネイル	◎	◎	◎	◎	B3FA31
	感染症学	○	○	△	○	B1DM32
	消毒法	○	○	△	○	B1DA33
	人体の機能	○	○	△	○	B1CM34
	皮膚病学	◎	◎	○	○	B1CA35
	ビューティーライセンス V	◎	◎	◎	○	B3FA36
ビューティーライセンス VI	◎	◎	◎	○	B3FA37	
ビューティーライセンス VII	◎	◎	◎	○	B3FA38	
ビューティーライセンス VIII	◎	◎	◎	○	B3FA39	

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

本学では、現代の生活文化を確立するために必要とされる高度な教養と豊かな情操、優れた感性と人間性、国際社会で活躍できる広い視野と資質を身につけた学生に短期大学士(生活文化学)を授与します。具体的には、所定の単位を修得し、次のような資質や能力を持つことが求められます。

- 1) 現代社会を生きるにふさわしい人間性、創造性、文化的感性、倫理性、コミュニケーション能力。
- 2) 生活文化の各分野で必要とされる実践的な専門技術、即戦力、社会的能力。
- 3) 国際社会に対応できる柔軟な理解力、基礎的な知識や語学力。

フードビジネス専攻 ディプロマ・ポリシー

食の分野において、社会人として現代社会を主導できる人材を育成する。深い教養と柔軟な感性を持ち、時代の変化に対応した豊かな食文化を実現できる。

フードビジネスコース到達目標

名古屋文化短期大学の定めるディプロマ・ポリシーへ向けた目的達成のために、本コースでは教育課程を通じて、次の能力を学修することを目標とする。

- 1、商品開発やマーケティングなど基本的な知識を身につけている。
- 2、時流に即した「食」の新しい価値を創造し社会へ提案することができる。
- 3、フードコーディネーターとしての知識、技術を習得している。

到達指標

1【知識・理解】

生活文化における、知識と教養を正しく理解する。

- ① 各専門分野の基礎となる知識を得ることができる。
- ② 各専門分野の基となる知識の理解深めることができる。
- ③ 取得した知識を応用することができる。

2【思考・判断・表現】

自ら考察し、適切に判断する力を養い、自己表現できる。

- ① 物事を総合的に考察することができる。
- ② 自ら選択し、判断し、技能を発揮または芸術的表現が出来る。

3【技能】

幅広い専門的な技能を修得し、優れた技能・創造力・企画力・コミュニケーション力を取得することができる。

- ① 専門分野に必要な知識と技能を身につけることができる。
- ② 専門技術及び知識を用いて、他者と質の高いコミュニケーション力を身につけることができる。
- ③ 各専門分野で必要に応じた技能を選択使用し、プレゼンテーションする能力を身につけることができる。

4【関心・意欲・態度】

意欲的に物事に取り組み、積極的な態度で真摯に物事に向き合うことができる。また地域社会と連携し貢献することができる。

- ① 各専門分野に興味を持ち探求することができる。
- ② 各専門分野の物事に主体的、意欲的に取り組むことができる。
- ③ 地域や社会との関わりを意識し、積極的に行動することができる。

1年次

種別	授業科目	1	2	3	4	ナンバリング
教養科目	生活と倫理 I	○	◎	○	○	N2QB80
	生活と倫理 II	○	◎	○	○	N2QB81
	TOEIC I A	○	△	○	○	N2HB83
	TOEIC I B	○	△	○	○	N2HM84
	異文化の理解	◎	○	△	○	N1QB85
	英会話 I	○	△	○	○	N2HB86
	日本語コミュニケーション I	○	△	◎	○	N1HB87
	TOEIC II A	○	△	○	○	N2HM88
	TOEIC II B	○	△	○	○	N2HA89
	英会話 II	○	△	○	○	N2HM90
	海外研究	◎	○	△	○	N1QM91
	日本語コミュニケーション II	○	△	◎	○	N1HM92
	キャリアデザイン I	◎	○	△	○	N1QB95
	情報リテラシー I	◎	△	○	○	N2AB96
キャリアデザイン II	◎	○	△	○	N1QM97	
情報リテラシー II	◎	△	○	○	N2AB98	
専攻科目	インターンシップ I	◎	◎	○	◎	N3QM04
	生活文化海外セミナー I	○	○	○	◎	N2QM06
	生活文化海外セミナー II	○	○	○	◎	N2QM07
	特殊研究	○	○	○	◎	N2CA08
	栄養学	◎	△	△	○	C1CB09
	食生活論	◎	○	△	○	C1CB10
	食文化概論	◎	○	△	○	C1CB11
	製菓の基礎	○	△	◎	○	C3CB12
	調理の基礎	○	△	◎	○	C3CB13
	フードコーディネート論	◎	△	○	○	C1CB14
	フードビジネス演習 I	○	◎	○	○	C2CB15
	食品学	◎	△	△	○	C1CB16
	製菓の応用	◎	○	◎	○	C3CI17
	製パンと和菓子の基礎	◎	△	○	○	C3CB18
調理学	◎	△	○	○	C1CB19	
調理の応用	◎	○	◎	○	C3CI20	
フードクリエイティブ	◎	○	△	○	C1CB21	
フードスタイリング	○	◎	○	○	C1CB22	
フードマーケティング	◎	○	△	○	C1CB23	
フードマネジメント	◎	○	△	○	C1CB24	

2年次

種別	授業科目	1	2	3	4	ナンバリング
教養科目	心理学	◎	△	○	○	N1RB82
	中国語	○	△	○	○	N2HB93
	フランス語	○	△	△	○	N2HB94
	文章表現法	◎	○	○	○	N2HB99
	生活文化論	◎	○	△	○	N1CB01
専攻科目	演習 I	○	◎	△	◎	N2QB02
	演習 II	○	◎	△	◎	N2QM03
	インターンシップ II	◎	◎	○	◎	N3QM05
	シュガークラフト技法	○	◎	○	○	C3CB25
	食の開発と企画	○	◎	○	○	C2CB26
	食品・公衆衛生学	◎	○	△	○	C1CB27
	世界の料理	◎	△	◎	○	C3CA28
	店舗空間デザイン	○	○	△	○	C2CB29
	フードインストラクター演習	○	○	△	○	C2CI30
	フードビジネス	◎	△	△	○	C1CB31
	ブライダルスイーツ	○	○	◎	○	C3CI32
	プロトコルマナー	○	○	△	○	C1CB33
	カフェ研究	○	△	○	○	C3CB34
	カフェ実習	◎	○	○	○	C3CI35
行動心理学	○	△	△	○	C1CB36	
世界のお菓子とパン	◎	△	◎	○	C3CA37	
デジタル情報処理演習	○	△	○	○	C2CI38	
フードビジネス演習 II	○	◎	○	○	C2CI39	
マルチメディア	グローバルマネジメント演習	◎	○	◎	◎	N2PB50
	プロトコルマナー演習	◎	○	◎	◎	N2QB51
	アピアランス	◎	○	◎	○	N2QB52
	美容と健康	◎	○	△	○	N2BB53
	住まいとデザイン	◎	○	○	○	N1UB54
	ブライダル基礎講座	◎	△	○	○	N2CB55
	ヒップホップダンス	◎	○	◎	○	N2BB56
	ファッション流行	◎	○	○	○	N2CB57
	ベーシックヘアー&メイクアップ	◎	○	◎	○	N2CB58
	食生活演習	◎	△	○	○	N2BB59

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

本学では、現代の生活文化を確立するために必要とされる高度な教養と豊かな情操、優れた感性と人間性、国際社会で活躍できる広い視野と資質を身につけた学生に短期大学士(生活文化学)を授与します。具体的には、所定の単位を修得し、次のような資質や能力を持つことが求められます。

- 1) 現代社会を生きるにふさわしい人間性、創造性、文化的感性、倫理性、コミュニケーション能力。
- 2) 生活文化の各分野で必要とされる実践的な専門技術、即戦力、社会的能力。
- 3) 国際社会に対応できる柔軟な理解力、基礎的な知識や語学力。

生活学専攻(2年課程)グレイセスコースのディプロマ・ポリシー

短大で学んだ専門分野の知識や技術を基盤として、実践的な語学力を習得するとともに、日本文化への理解を深める。在学中に海外留学や国内国内インターンシップに参加し、国際社会に対応できる専門知識や技術を磨く。幅広い国際教養や芸術文化を学術的に探究する力を身につける。

到達指標

1【知識・理解】

生活文化における、知識と教養を正しく理解する。

- ① 各専門分野の基礎となる知識を得ることができる。
- ② 各専門分野の基となる知識の理解深めることができる。
- ③ 取得した知識を応用することができる。

2【思考・判断・表現】

自ら考察し、適切に判断する力を養い、自己表現できる。

- ① 物事を総合的に考察することができる。
- ② 自ら選択し、判断し、技能を發揮または芸術的表現が出来る。

3【技能】

幅広い専門的な技能を修得し、優れた技能・創造力・企画力・コミュニケーション力を取得することができる。

- ① 専門分野に必要な知識と技能を身につけることができる。
- ② 専門技術及び知識を用いて、他者と質の高いコミュニケーション力を身につけることができる。
- ③ 各専門分野で必要に応じた技能を選択使用し、プレゼンテーションする能力を身につけることができる。

4【関心・意欲・態度】

意欲的に物事に取り組み、積極的な態度で真摯に物事に向き合うことができる。また地域社会と連携し貢献することができる。

- ① 各専門分野に興味を持ち探求することができる。
- ② 各専門分野の物事に主体的、意欲的に取り組むことができる。
- ③ 地域や社会との関わりを意識し、積極的に行動することができる。

種別	授業科目	1	2	3	4	ナンバリング
国	英国紅茶研究	◎	○	○	○	U2CB01
	芸術と哲学	○	◎	○	△	U1EM02
	茶道概論及び実習Ⅰ	◎	◎	○	△	U2CB03
	日本の伝統芸能	◎	○	○	○	U1FM04
	生活と文化Ⅰ	○	◎	○	○	U1CB05
	比較文化論Ⅰ	○	◎	○	○	U1QM06
	健康と美	◎	○	○	○	U1CB07
	茶道概論及び実習Ⅱ	◎	◎	○	△	U2CB08
	情報処理Ⅰ	◎	△	○	○	U2AB09
	日本アニメ研究	◎	○	△	△	U1FB10
際	ホスピタリティ概論	◎	○	○	○	U1CB11
	生活と文化Ⅱ	○	◎	○	○	U1CM12
	茶道概論及び実習Ⅲ	◎	◎	○	△	U2CM13
	香道の心得	○	△	○	△	U1FB14
	資産マネジメント	◎	○	△	△	U1PA15
	生活と文化Ⅲ	○	◎	○	○	U1CM16
	比較文化論Ⅱ	○	◎	○	○	U1QM17
	比較文化論Ⅲ	○	◎	○	○	U1QM18
	茶道概論及び実習Ⅳ	◎	◎	○	△	U2CM19
	情報処理Ⅱ	◎	△	○	○	U2AM20
教	生活と文化Ⅳ	○	◎	○	○	U1CM21
	着表演習Ⅰ	○	○	△	○	U2FB22
	着表演習Ⅱ	○	○	△	○	U2FM23
	TOEIC特講Ⅰ	◎	○	○	○	U2HB24
	英語プレゼンテーション	○	◎	○	○	U2HB25
	韓国語	◎	○	○	○	U2HB26
	スピーキング	○	◎	○	○	U2HB27
	フランス語	◎	○	○	○	U2HB28
	ライティング	○	◎	○	○	U2HB29
	リーディング	○	◎	○	○	U2HB30
学	TOEIC特講Ⅱ	◎	○	○	○	U2HM31
	英語ディスカッション	○	◎	○	○	U2HM32
	語学演習Ⅰ	◎	○	○	○	U2HM33
	語学演習Ⅱ	◎	○	○	○	U2HM34

種別	授業科目	1	2	3	4	ナンバリング
海外専門演習	海外専門演習Ⅰ	○	◎	○	○	U2CM35
	海外専門演習Ⅱ	○	◎	○	○	U2CM36
インターンシップ	海外インターンシップ	○	◎	○	◎	U3PM37
	国内インターンシップⅠ	○	◎	○	◎	U3PM38
	国内インターンシップⅡ	○	◎	○	◎	U3PM39
特別演習	異文化研修	○	○	○	◎	W2QB40
	国内専門演習Ⅰ	○	◎	○	△	U2CM41
	国内専門演習Ⅱ	○	◎	○	△	U2CM42
	専攻科特別研究Ⅰ	○	◎	○	◎	U2CA43
	専攻科特別研究Ⅱ	○	◎	○	◎	U2CA44
	専攻科特別研究Ⅰ	○	◎	○	◎	U2CA45
	専攻科特別研究Ⅱ	○	◎	○	◎	U2CA46

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

本学では、現代の生活文化を確立するために必要とされる高度な教養と豊かな情操、優れた感性と人間性、国際社会で活躍できる広い視野と資質を身につけた学生に短期大学士(生活文化学)を授与します。具体的には、所定の単位を修得し、次のような資質や能力を持つことが求められます。

- 1) 現代社会を生きるにふさわしい人間性、創造性、文化的感性、倫理性、コミュニケーション能力。
- 2) 生活文化の各分野で必要とされる実践的な専門技術、即戦力、社会的能力。
- 3) 国際社会に対応できる柔軟な理解力、基礎的な知識や語学力。

生活文化専攻(1年課程)マスターコースのディプロマ・ポリシー

短大で学んだ専門分野の知識や技術を基盤として、実践的な語学力を習得するとともに、日本文化への理解を深める。在学中に海外留学や国内インターンシップに参加し、国際社会に対応できる専門知識や技術を磨く。国際教養と専門技術を生かし、即戦力として活躍できる人材を目指す。

到達指標

1【知識・理解】

生活文化における、知識と教養を正しく理解する。

- ① 各専門分野の基礎となる知識を得ることができる。
- ② 各専門分野の基となる知識の理解深めることができる。
- ③ 取得した知識を応用することができる。

2【思考・判断・表現】

自ら考察し、適切に判断する力を養い、自己表現できる。

- ① 物事を総合的に考察することができる。
- ② 自ら選択し、判断し、技能を發揮または芸術的表現が出来る。

3【技能】

幅広い専門的な技能を修得し、優れた技能・創造力・企画力・コミュニケーション力を取得することができる。

- ① 専門分野に必要な知識と技能を身につけることができる。
- ② 専門技術及び知識を用いて、他者と質の高いコミュニケーション力を身につけることができる。
- ③ 各専門分野で必要に応じた技能を選択使用し、プレゼンテーションする能力を身につけることができる。

4【関心・意欲・態度】

意欲的に物事に取り組み、積極的な態度で真摯に物事に向き合うことができる。また地域社会と連携し貢献することができる。

- ① 各専門分野に興味を持ち探求することができる。
- ② 各専門分野の物事に主体的、意欲的に取り組むことができる。
- ③ 地域や社会との関わりを意識し、積極的に行動することができる。

種別	授業科目	1	2	3	4	ナンバリング
国際 教 養	英国紅茶研究	◎	○	○	○	W2CB01
	芸術と哲学	○	◎	○	△	W1EM02
	香道の心得	○	△	○	△	W1FB03
	茶道概論及び実習 I	◎	◎	○	△	W2CB04
	日本の伝統芸能	◎	○	○	○	W1FM05
	生活と文化 I	○	◎	○	○	W1CB06
	比較文化論 I	○	◎	○	○	W1QM07
	健康と美	◎	○	○	○	W1CB08
	茶道概論及び実習 II	◎	◎	○	△	W2CB09
	日本アニメ研究	◎	○	△	△	W1FB10
	ホスピタリティ概論	◎	○	○	○	W1CB11
	生活と文化 II	○	◎	○	○	W1CB12
語 学	TOEIC特講 I	◎	○	○	○	W2HB13
	英語プレゼンテーション	○	◎	○	○	W2HB14
	韓国語	◎	○	○	○	W2HB15
	スピーキング	○	◎	○	○	W2HB16
	フランス語	◎	○	○	○	W2HB17
	ライティング	○	◎	○	○	W2HB18
	リーディング	○	◎	○	○	W2HB19
	TOEIC特講 II	◎	○	○	○	W2HM20
	英語ディスカッション	○	◎	○	○	W2HM21
	語学演習 I	◎	○	○	○	W2HM22
語学演習 II	◎	○	○	○	W2HM23	
語学演習 III	◎	○	○	○	W2HM24	
語学演習 IV	◎	○	○	○	W2HM25	
語学演習 V	◎	○	○	○	W2HM26	

種別	授業科目	1	2	3	4	ナンバリング
海外 演 習 専 門	海外専門演習 I	○	◎	○	○	W2CM27
	海外専門演習 II	○	◎	○	○	W2CM28
	海外専門演習 III	○	◎	○	○	W2CM29
	海外専門演習 IV	○	◎	○	○	W2CM30
イ ン タ ー ン シ ッ プ	海外インターンシップ	○	◎	○	◎	W3PM31
	国内インターンシップ I	○	◎	○	◎	W3PM32
	国内インターンシップ II	○	◎	○	◎	W3PM33
特 別 演 習	異文化研修	○	○	○	◎	W2QB34
	国内専門演習 I	○	◎	○	△	W2CM35
	国内専門演習 II	○	◎	○	△	W2CM36
	国内専門演習 III	○	◎	○	△	W2CM37
	国内専門演習 IV	○	◎	○	△	W2CM38

## 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

本学では、現代の生活文化を確立するために必要とされる高度な教養と豊かな情操、優れた感性と人間性、国際社会で活躍できる広い視野と資質を身につけた学生に短期大学士(生活文化学)を授与します。具体的には、所定の単位を修得し、次のような資質や能力を持つことが求められます。

- 1) 現代社会を生きるにふさわしい人間性、創造性、文化的感性、倫理性、コミュニケーション能力。
- 2) 生活文化の各分野で必要とされる実践的な専門技術、即戦力、社会的能力。
- 3) 国際社会に対応できる柔軟な理解力、基礎的な知識や語学力。

## 生活文化専攻(1年課程)日本文化コースのディプロマ・ポリシー

日本の伝統的な文化や芸術をとおして日本の精神文化を深く理解するとともに、現代日本の生活習慣や価値観、視覚芸術を多面的に学ぶ。幅広い知識と高度な日本語運用能力があり、他者と協働し様々な課題を解決できる。

## 到達指標

## 1【知識・理解】

生活文化における、知識と教養を正しく理解する。

- ① 各専門分野の基礎となる知識を得ることができる。
- ② 各専門分野の基となる知識の理解深めることができる。
- ③ 取得した知識を応用することができる。

## 2【思考・判断・表現】

自ら考察し、適切に判断する力を養い、自己表現できる。

- ① 物事を総合的に考察することができる。
- ② 自ら選択し、判断し、技能を發揮または芸術的表現が出来る。

## 3【技能】

幅広い専門的な技能を修得し、優れた技能・創造力・企画力・コミュニケーション力を取得することができる。

- ① 専門分野に必要な知識と技能を身につけることができる。
- ② 専門技術及び知識を用いて、他者と質の高いコミュニケーション力を身につけることができる。
- ③ 各専門分野で必要に応じた技能を選択使用し、プレゼンテーションする能力を身につけることができる。

## 4【関心・意欲・態度】

意欲的に物事に取り組み、積極的な態度で真摯に物事に向き合うことができる。また地域社会と連携し貢献することができる。

- ① 各専門分野に興味を持ち探求することができる。
- ② 各専門分野の物事に主体的、意欲的に取り組むことができる。
- ③ 地域や社会との関わりを意識し、積極的に行動することができる。

種別	授業科目	1	2	3	4	ナンバリング
国際 教養	生活と文化 I	○	◎	○	○	S1CB01
	生活と文化 II	○	◎	○	○	S1CB02
	茶道概論及び実習 I	◎	◎	○	△	S2CB03
	茶道概論及び実習 II	◎	◎	○	△	S2CB04
	日本文化演習 I	○	◎	○	◎	S2FB05
	日本文化演習 II	○	◎	○	◎	S2FM06
	日本アニメ研究	◎	○	△	△	S1FB07
	ビジネスマナー(日本版)	○	◎	○	○	S1QB08
特別 演習	異文化研修	○	○	○	◎	S2QB09
	専攻科特別演習 I	○	◎	○	◎	S2CB10
	専攻科特別演習 II	○	◎	○	◎	S2CB11
	専攻科特別演習 III	○	◎	○	◎	S2CB12
	専攻科特別演習 IV	○	◎	○	◎	S2CB13
	専攻科特別演習 V	○	◎	○	◎	S2CM14
	専攻科特別演習 VI	○	◎	○	◎	S2CM15
	専攻科特別演習 VII	○	◎	○	◎	S2CM16
	専攻科特別演習 VIII	○	◎	○	◎	S2CM17
	日本芸術文化演習 I	○	◎	○	◎	S2FB18
	日本芸術文化演習 II	○	◎	○	◎	S2FM19

2024年度 カリキュラム・マップ

到達指標

1【知識・理解】

生活文化における、知識と教養を正しく理解する。

- ① 各専門分野の基礎となる知識を得ることができる。
- ② 各専門分野の基となる知識の理解深めることができる。
- ③ 取得した知識を応用することができる。

2【思考・判断・表現】

自ら考察し、適切に判断する力を養い、自己表現できる。

- ① 物事を総合的に考察することができる。
- ② 自ら選択し、判断し、技能を発揮または芸術的表現が出来る。

3【技能】

幅広い専門的な技能を修得し、優れた技能・創造力・企画力・コミュニケーション力を取得することができる。

- ① 専門分野に必要な知識と技能を身につけることができる。
- ② 専門技術及び知識を用いて、他者と質の高いコミュニケーション力を身につけることができる。
- ③ 各専門分野で必要に応じた技能を選択使用し、プレゼンテーションする能力を身に着けることができる。

4【関心・意欲・態度】

意欲的に物事に取り組み、積極的な態度で真摯に物事に向き合うことができる。また地域社会と連携し貢献することができる。

- ① 各専門分野に興味を持ち探求することができる。
- ② 各専門分野の物事に主体的、意欲的に取り組むことができる。
- ③ 地域や社会との関わりを意識し、積極的に行動することができる。

①【知識・理解】

②【思考・判断・表現】

③【技能】

④【関心・意欲・態度】